

日本宇宙少年団北海道地区連絡協議会

- 活動例 -

釧路と大樹が参加すると1回の
会議で8万円負担(札幌開催)

余市

札幌

摩周

釧路 342km

大樹

苫小牧

白老

室蘭

設立の経緯

北海道新長期総合計画に15の戦略プロジェクトが作成された。
北海道航空宇宙産業基地構想あり

北海道民に航空宇宙を知ってもらうために民間ベースでも北海道
航空宇宙産業基地研究会議を設立。各地にも研究会が発足した。
そして分団が誕生

1989年3月 日本宇宙少年団北海道分団連絡協議会設立

大樹分団 136名

室蘭分団 50名

札幌分団 51名

苫小牧分団 70名

後に余市分団、白老分団、釧路分団、摩周分団が加盟
賛助会員として北海道テレビ（HTB）が加盟

年会費 10,000円（1分団当りの負担額）

設立趣旨

本会はYAC憲章のもと

宇宙を通しての世界平和を理想として活動している

日本宇宙少年団の北海道における各分団の

連絡、協議機関として

未来を担う青少年の育成と航空宇宙の普及を図るとともに

共通の目的達成のため、運動展開の運営に関する事項を

検討協力し協議し実施する。

また、全道的範囲での日本宇宙少年団活動の

健全な発展を図ることを目的とする。

事業内容

1. サテライト団員への情報提供
2. リーダー・サブリーダー研修会の実施
3. 新たな分団発足の促進を行う
4. 海外団員との国際交流を図る
5. 他団体の宇宙に関する事業との連携を強化する
6. 北海道地区大会の可能性を模索する
7. 本部事業との連携を強化する

主な実施事業

- 1989年 7月 YAC国際ジャンボリー 横浜（記念事業）
- 1990年 7月 YACセミナー'90 苫小牧
- 1992年 8月 スペースジャンボリーイン大樹
- 1993年 8月 第6回YAI国際コンファランス テジョン
- 1994年 7月 岩手国際ジャンボリー 陸前高田
- 2000年 3月 アメリカ研修旅行 ワシントン ハワイ
- 2001年 9月 火星より子どもたちへ 苫小牧
- 2002年12月 宇宙教室北海道 札幌
- 2004年 4月 スペースアカデミー 苫小牧
- 2008年 5月 子ども宇宙サミット 苫小牧

主な研修会

1994年	9月	リーダー・サブリーダー研修会	余市町
1995年	7月	リーダー・サブリーダー研修会	苫小牧
1997年	7月	YACセミナー'97	苫小牧 記事あり
1997年	9月	コスミックカレッジ苫小牧	アルテン
1999年	5月	リーダー・サブリーダー研修会	苫小牧
2001年	11月	リーダー・サブリーダー研修会	札幌
2003年	3月	リーダー・サブリーダー研修会	室蘭
2003年	10月	リーダー・サブリーダー研修会	白老
2005年	3月	リーダー・サブリーダー研修会	余市

メリット

1. 中高校生の活性化
2. 教材開発の広がり
3. 情報の共有化による不公平の排除
4. 会費を納めることの効果
5. 広報・PRの拡大

デメリット

1. 旅費・宿泊費
2. 安全 特に冬場

昨年分団長会議から
(おとな部会) ～組織拡大～

多くの仲間を得ることにより、それが知識となり活力となる
そして 目標を達成させるため輪を広げ活動を展開する

それには
全国共通の課題を克服し、たたえあう意識、仲間意識が必要